

いなみ町

議会だより

No.52
2012.1

12月定例議会 平成24年の成人式

23年度補正予算と議案審議等	P2~P3
一般質問「ここが聞きたい」7人が登壇	P4~P10
委員会活動報告「東北視察」	P11~P13
アンケートのお願い	P14

平成23年 第4回定例会（12月議会）

平成23年第4回印南町議会定例会は、12月8日開会し15日閉会いたしました。
 今回の定例会の上程案件は条例3件、工事請負契約の変更2件、補正予算6件が提案され慎重審議の上、「一般会計補正予算については修正動議により修正可決」他については原案可決しました。

平成23年度一般会計 補正予算（第6号）を修正可決

一般会計

4億3,518万6千円を追加

補正後の総額 70億2,256万6千円

歳入での主な補正額

歳入	補正額
分担金及び負担金	1,351万2千円
国庫支出金	2億5,876万7千円
県支出金	△2,036万5千円
町債	1億7,850万0千円

※但し、△印は減額を意味します。

歳出での主な補正額

歳出	補正額
総務費	614万4千円
民生費	△392万2千円
農林水産費	1,306万4千円
土木費	△3,902万7千円
教育費	△413万2千円
災害復旧費	4億6,362万8千円
予備費	2,819万1千円

特別会計補正予算

名称	補正額	総額
国民健康保険事業	1億2,942万0千円	14億243万9千円
介護保険事業	3,577万8千円	9億6,325万1千円
簡易水道事業	8,000万0千円	6億3,490万1千円
滝ノ岡専用水道事業	3,782万9千円	8,878万3千円
農業集落排水事業	270万0千円	7,820万7千円

各議案に対するQ&A

Q 農地農業用地施設災害復旧費の工事請負費1億9980万円について。

A 12号台風により200ヶ所が被災し、うち農地70ヶ所、施設130ヶ所の分です。

Q 健康増進事業に係る子宮がん検診の委託料の増額について。

A 1月22日特定健診を含め、がん検診を実施その分の増として約200人を見込んでおり本年は436名の健診受診者です。

Q 昨年は373名ということ、今年約63名の増です。

Q 避難袋を行政が与えるのではなく、自分で大切なお金を

議案第73号一般会計補正予算(第6号)に対する修正動議は可決されました。

発議者 議員 日裏 勝己
玉置 克彦
杉谷 考祥

「非常用持出袋、各住民に配布を各戸へ配布。
4,300万円予定を2,800万円減額して予備費へ」

・修正案について 賛成 6名
反対 5名

切目川ダムを中心とする河川整備計画見直し の意見書を求める請願について

・総務産建常任委員会に付託

不採択することに

賛成 10名
反対 1名

条例3件・全員賛成で可決

- ・印南町暴力団排除条例の制定について
- ・印南町地域交流センター設置及び管理条例の制定について
- ・印南町税条例等の一部改正について

工事請負契約の変更について 2件・全員賛成で可決

- ・印南原簡易水道統合整備事業 切山工区配水管布設工事
- ・印南町簡易水道事業 切目川河川改修に伴う水道施設（浄水）補償工事

◎選挙管理委員補充員（選挙・・・4名選任）

順位	氏名	住所
1	庄田 登紀美 <small>しょうた と き み</small>	羽六902番地
2	門脇 泰憲 <small>かどわき やすのり</small>	印南1171番地の1
3	貴志 まこと <small>き し</small>	島田2154番地の6
4	塩路 薫 <small>しおじ かおる</small>	印南原5189番地

◎選挙管理委員会委員（選挙・・・4名選任）

氏名	住所
新田 豊 <small>にった ゆたか</small>	南谷134番地
楠本 勝彦 <small>くすもと かつひこ</small>	印南2297番地
川口 主税 <small>かわぐち いさお</small>	丹生168番地の2
津邑 光男 <small>つむら みつお</small>	西ノ地279番地

第3回臨時会（11月）

- 専決処分事項の承認を求めることについて2件
（消防団員等公務災害補償条例の一部改正）（平成23年度一般会計補正予算（第4号））
全員賛成で可決
- 職員の給与に関する条例等の一部改正について
賛成10・反対1
- 平成23年度一般会計補正予算（第5号）について
賛成8・反対3

出して買うのであれば、いつまでも大切にします。
行政は避難所の整備から防災センター等のハード面を進める事が一番大事だと思います。

A

全住民に配布するという事は、一人ひとりの防災意識を高める事に繋がると思っています。

まずソフト面をきっちりやってから、ハード面に関しましてはこれからです。

農業集落排水事業を問う

杉谷 考祥 議員



とするというのは、確かに難しいと思いますが、町として接続率を上げるための方法は考えていますか。

答弁 生活環境課長

3地区それぞれ管理組合があり、この組合などの協力を得ながら接続率のアップができるよう努めていきたい。

り使用料の値上げの実施を予定しており、「印南町農業集落排水事業運営協議会」等と協議をしながら、新たな料金体系を確立していきたいと考えています。



独立採算でありますから、値上げは避けられないと思います。合併浄化槽との整合性を図れる金額ということになると思います。その辺は協議会と話をしていきたいと思えます。

水道事業について

質問 台風12号による切目川の氾濫のため水源地が一時使用不能となったが、今後の対策はどの様に考えられていますか。

答弁 生活環境課長

ポンプ場の建物にも浸水しましたが、幸いにも設備自体は点検整備で済み直ぐに復旧しましたが、井戸に直接濁水が入ったため、時間がかかりました。

できるだけ早く対策を講じていきたいと考えています。

質問 町内には3つの集落排水事業があります。現時点の接続状況と、今後の見通しはどの様に考えられていますか。

答弁 生活環境課長

平成23年11月末現在で、山口地区12.3%、古井地区82%、共栄地区34.7%全体で、78.

1%となっています。

共栄地区については接続義務が平成24年度末までであるため、接続率は上がると思われるが、50%に達するのも難しい状況で、他の2地区についても、これ以上の接続率のアップは非常に難しい。

質問 接続率を100%

質問 今後の加入者の使用料について戸別の合併浄化槽にするよりも安くならせとの触れ込みでしたが、今の時点では安いのと思えません、今後の使用料の引き下げは可能ですか。

答弁 生活環境課長

接続率100%に達するのが非常に難しい等のため、平成25年度よ

質問 使用料については、今後値下げは無理でありむしろ値上げをしていかなければならないということですが、現在の印南町の使用料は県下でも高いほうだと思います。

答弁 町長

特別会計というのは

質問 自主防災会及び、連絡協議会の状況と、

今後において自主防災組織に対して運営資金の助成及び、防災の研修会などの知的支援を含む、育成支援の計画をお聞き

します。

答弁 総務課長

自主防災会は、現在31の区で45団体設立されています。

連絡協議会は、11月



26日に印南町自主防災会連絡協議会が設立されました。

活動助成として1つの組織に対して定額3万円プラス、1世帯当たり300円を加算する費用助成を考えています。

予算規模では、育成助成として200万円を予定しています。

費用助成以外にも、人的・知的支援も積極的に考えています。

質問

現在、計画が進められている新庁舎の防災機能計画をお聞きします。

答弁 総務課長

新庁舎は免震構造の建物となり、非常用電源の設備、耐震性飲料用兼用の防火水槽が具体的な計画です。

『備えあれば憂いなし』

井上 孝夫 議員



『介護保険利用者の経済的軽減策を問う』

質問

居宅サービスに、安全な生活環境を整えるために廊下や階段に手すりをつける住宅改修及び、福祉用具購入の支給サービスがあります。

この支払い方法として、町では償還払い制度という利用者が一旦費用の全額を支払い、その後

9割の支給を受ける制度を実施しています。

償還払い制度に対し、受領委任払い制度という最初から1割だけを支払う制度があり、利用者の経済的負担を軽減できることから「受領委任払い制度」を、条件付きで導入してはどうか。

答弁 住民福祉課長

生活実態に対応できるように、今後前向きに協議していきます。



新しい介護保険制度に対する町の対応は
— 介護保険料の値上げを抑える対策を —

榎本 一平 議員



年度からの介護保険料はどれほどの金額になる予定ですか。

答弁 住民福祉課長

介護保険料は介護認定者数やサービス利用料などで算出されます。来期は5000円以上となり、現在の基準額より10000円以上は上がると考えています。



は3925円と値上がり傾向となっています。厚生労働省は介護保

険料の全国的な試算を

平均月額で「4160円から5200円になる」と示しています。

印南町では2012

質問

実際に5000円以上となれば、現在の基準額・3925円の1・3倍以上になります。住民の負担軽減を図るために保険料の

値上げを抑える対策を具体的に考えていく必要がありませんか。

答弁 町長

県にある（貯金）の取り崩しを求めたいし、見積り作業を進め、保険料を極力下げる努力をしたい。

「切目川河川整備計画」を問う
— ダムの洪水調整能力は完璧なものか？ —

質問

「切目川河川整備計画」はダム完成予定が平成26年、河口から羽六までの6・5kmの完成予定が平成32年で進められています。

先にダムが完成して切目川地域の水害対策は大丈夫ですか。県に対し河川改修を優先して取り組むように、要請できませんか。

答弁 建設課長

治水、利水の両面から印南町として必要があり、ダムの早期完成を望むものであります。河川改修優先の要請は考えていません。

質問

台風12号や近年の著しい気象現象は改めてダムの洪水調整能力に対して疑問が発生しています。

切目川ダムの洪水調整はきちんとできるのか。降雨量などの見直しが必要ではありませんか。県に対しても要請できませんか。

答弁 建設課長

県は「計画規模以上の洪水には、ハード整備だけでなく、浸水想定区域図の作成なども合わせ治水対策に努める」との見解を示しています。本事業の当初計画見直しを、県に要請する考えはありません。

非常用持出袋は必要か

質問 非常用持出袋を全町民に配布する費用で、4300万円の補正予算が組まれています。その内容と費用対効果



果はどのように考えられていますか。一軒に二つの配布でよいと思いますがいかがですか。
毎年入れ換えするとの事ですが、その費用はどう捻出するのですか。

答弁 総務課長

非常用持出袋は町民が万一被災した場合に利用する水と、3日分の食料をリュックサックに納めて、自主防災会を通じ全町民に配布いたします。

それにより、全町民が防災意識を持つとともに、災害時、町全体が防災倉庫となり即時対応できる効果が期待できます。食料備蓄倉庫の設置にかかわることが出来ません。

費用対効果は備蓄倉庫一棟分200平方メートル約2000万円必要となります。検討した中、全町民への配布により合理的な食料備蓄対応であると判断しました。

入れ換えする費用として年間600万円必要ですが、安全・安心

非常用持出袋は一人につき必要か！

日裏 勝己議員

基金9億円の運用益等の中から使っていくます。

超過勤務は認めるのか！

時間外勤務を問う

質問 課によっては日常的に夜遅くまで勤務されているが、どのように考えられていますか。



答弁 総務課長

夜間の勤務は、所属長の超過勤務命令により行っており、必要なものと考えています。職員が残って自分の調べ事とか、職務の向上、やる気を出して居残っている、というような事についても正規に超過勤務として認めていきたい。このことは十一月から各所属長を通じて徹底するように申し合わせをしました。

また、休日の勤務・割振り等についても正常に運用できるよう申し合わせを行いました。

※費用対効果の説明
支出した費用に
対して得られる効果のこと。

西ノ地地区改良住宅の進捗状況を問う

玉置 克彦 議員



質問 現在西ノ地地区に改良住宅があります。耐震等の関係から建て替えるとのことですが、現在の進捗状況は、どの様になっていますか。

答弁 建設課長 現在、本年度予算として計上しております。南町営住宅長寿命化計画を、平成24年2月20日を工期として策定中でございます。建てか

答弁 建設課長 事業費の財政計画、それと土地の有効利用、福祉施策、防災対策等、住宅の建てかえだけに限定せず、今後のまちづくりを視野に入れ協議を重ねているところでございます。

えを基本に地元との調整を図っているところでございます。

質問 現在入居中の住宅を撤去し、新たな住宅を確保しなければならぬと考えます。具体的な建てかえ計画をどのように考えているのか。

防災の観点から土地の有効利用も図れると思います。具体的な構想について見解をお願いします。

防災について

質問 今議会の補正予算の中で非常用持ち出し袋を全町民に配布するとの事ですが、どの様にされるのですか。

答弁 総務課長

町民が万一被災した場合において、必要な水と約3日分の食糧などを納めたリュックサックを、全町民に自主防災会等を通じて配付するものがございます。

質問 町民全員に非常用防災袋を配付することによって、食糧等がすぐに確保できるという即応性、平等に分配されるという公平の観点、大規模なものを含めて備蓄倉庫を建てる必要性がなくなるという効率性が、本当になくなるのか、お聞きします。

答弁 町長

食糧を分配するということは、二の次、三の次になっていくと同時に、時がいたずらに経つんだと思っております。

最初から配つてあるんなら、その辺のところは問題ないだろうし、次の行動もすぐさまとれる復興・復旧に対しても有効的であるという事を、ご理解いただきたいというふうに思っております。

質問 近隣の人達が自宅の消火器を持ち寄り初期消火に努めた消火器についての対応はどの様にされるのですか。



答弁 総務課長

直接的な費用負担は、廃止したいと思っております。

質問 台風12号の洪水警報発令中で避難勧告、消防団の出動指示はどのように判断され指示されたのか。

質問 台風の洪水警報発令中で避難勧告、消防団の出動指示はどのように判断され指示されたのか。

答弁 総務課長

勧告は古井区の一部、高垣区、全区に避難指示を発令。古井・古屋2ヶ所の県設置水位計の推移を基に、町職員の現場目視確認を行い



判断した。

団への指示は団の防水活動として団が情報収集、報告、避難誘導をするとなっておりその通り指示した。

警報発令中は職員が参集し、現場確認をとっている。

質問 洪水時の下流域への情報伝達は。



答弁 総務課長

夜間、川の水位、浸水地域の地形、降雨状況を判断状況に応じ防災無線、電話連絡、職

員の直接伝達をする。

災害を想定、自主防災、住民自ら状況判断行動して頂きたい。

切目川の災害復旧について

質問 決壊した堤防の復旧は。

答弁 建設課長

切目川本線では約70ヶ所、災害発生内7ヶ所堤防決壊、仮設堤防で対応中、現在事業査定中で決まり次第工事に入る。

質問 川の堆積土砂の搬出は出来ないのか。

答弁 建設課長

11月に切目川促進協議会で災害復旧の促進と新設工事の要望を県にお願してきましたが、搬出については調査し、対応検討するが搬出場所については、町内

に適正用地確保を望み、町として努力する。

防災袋の配布について

質問 中身の再検討及び指定避難施設への食糧備蓄はできないか。



答弁 総務課長

避難施設での備蓄による住民対応では十分であり、効果的期待ができない。

持ち出し袋には3日分の食糧を入れ配布することで、それを供給共助する施設や学校等々納めるスペースの確保が困難と思う。

切目川流域の防災対策について

村上 誠八議員

町長就任から4年間の自己評価は

西山 徹議員



質問 町長就任から1期4年間、マニフェストでは「活気みなぎる町に」、「地域福祉の充実」、「行政の活性化」の3点・11項目を掲げられました。自己評価と

してはいかがですか。
答弁 町長 この4年間で280あまりの着工、実施させていただき、全ての項目に対し一定の成果を挙げて

きました。

情報化社会については、光ファイバー体制ができ、地デジ対応も充実できたと考えます。農林水産振興策・企業誘致と商工業の活性化・教育5Kプランについても充実させてきたと考えます。

次に、地域福祉の充実では、幼保一元化・18歳まで医療費無料・育児環境・シルバー人材・障害福祉事業所など、成果を挙げてきました。行政の活性化では、予算項目の見直し、防災対策の強化、地区懇談会、彩りトークなど、概ねマニフェストは、果たせたと思います。



再質問 若者定住対策は進めているが、働く場所の確保とTPP交渉で不安になっている農業対策は、まだまだ、やれる点はあるのではないか。



答弁 町長 町有地の活用による中小企業誘致や、第1次産業の6次産業化による雇用の確保等、第

1次産業の活性化を考えていきたい。

質問 時期町長選に向けてのマニフェストは、どのように考えているのかお伺いします。

答弁 町長

時期マニフェストについては、これまでより改善、発展の余地がある7項目を柱に、1つ目は、信頼される役場であるために、2つ目は、農林水産業・商業、観光の振興、3つ目は、雇用の確保、4つ目として地域福祉の充実、5番目として教育5kプランの継続、6番目として防災力の向上、7番目として公共施設の管理運営、こういったことをしっかりと訴えていきたいと考えています。

委員会活動報告

「総務産建常任委員会」

平成23年10月7日

役場3階会議室で印南町の災害について研修しました。

一、災害状況（6月梅

雨前線豪雨・台風6・12号）

①農地・農業用施設

313件

②公共土木災害51件

③漁港施設災害3件

④林道災害6件

二、災害復旧メニュー

①国庫補助事業対象の災害復旧事業を実施する。

●農地・農業用施設については、基準地元負担金5%

②上記に対象にならない小災害復旧事業（起債）も実施する。

【農地等小災害復旧事業】

●1ヶ所の復旧工事費が13万円以上40万円未満（地元負担金

13%）
【農業用施設小災害復旧事業】

●1ヶ所の復旧工事費が13万円以上40万円未満（地元負担金10%）

【印南町農地災害復旧支援事業】（町単独）を実施する。

●国庫補助に該当しない災害について、補助を検討中である。

③農地災害復旧事業の採択要件について。

●復旧すべき田畑の面積が最低269a（平地）必要であり、面積や諸条件に応じて復旧費の限度額がある。

●復旧工事費が、限度額を超える場合は自己負担となる。

●復旧工事費が40万円以上でないとい採択されない。

※9時から建設課の説明を受け、その後、日

高川町からみなべ町方面へかけて、災害現地視察を行いました。

「文教厚生常任委員会」

平成23年11月10日

「いなみこども園」の現況について

印南町幼児教育子育て支援、平成23年4月民営こども園が開設、町が支援監督する体制で開園7ヶ月が経過、子ども達の健全を目的に現況を把握し、幼児保育の推進にいかせるよう審議しました。

①開園前の計画と開園後の比較

入園予定者240名に対し、253名（10月現在）1月1日現在は、255名。

平成24年希望申込者10月現在248名（最大定数270名）

●保育時間、保護者送迎、遠距離通園、保育内容についても保護者ともに良好な感触。

②地域保育から250名を超え



こども園のゆうぎ風景

る保育環境の変化に対し、幼児の学習意欲・友達関係・自己表現や協調関係に対しては、当初園別グループを作っていたが、直ぐに慣れて友達が増えていきます。

③特別食（アレルギー）や離乳食に関しては保護者との連携を密にし安全を図っています。

④保護者会の園に対する信望が徐々に浸透して来ています。

（委員長所見）

日高川町からみなべ町にかけて、今回の台風12号による豪雨災害地の視察を行いました。今回の被害は、長時間豪雨にさらされたために、甚大な被害に及びました。「ダム」の放流に原因があるのではないかとも言われていますが、ダムの上流でも大きな被害が出ていました。当町においても、切目川ダムが造られますが、このような被害を未然に防げるように、想定以上の対策を考えます。



園内の芝生でのびのび散歩

「学童クラブ」の発足

子どもの健全育成を図ることを目的に開設した町立いなみ交流センターの活用。

- 保護者の労働等により
- ① 放課後～午後6時
- ② 延長・午後7時まで
- ③ 臨時利用も可能
- 利用について

教材費等で、月額5000円。

まだ事業内容が町民に浸透されていませんが、今後において、学童クラブの期待を寄せ

るところです。



教育委員会の説明を受ける

（委員長所見）

印南町の将来を担う幼児教育の場、人間形成の基礎作りや幼児期のきめ細やかな子育て支援の必要性を感じました。

議会政策研究特別委員会

平成23年10月25日～26日

東北被災地視察

【視察内容】

25日（火）

● 宮城県仙台空港からバスで、石巻市・女川町・南三陸町の被災地へ

● 夜、気仙沼のホテルにて、日裏氏（印南町皆瀬川出身）と合流し、地元の名産（植木氏・千葉氏）を含めて、当時の津波の状況や体験を聞かせていただきました。（個人が撮影したDVDも上映。）

26日（水）

● 気仙沼市を出発し、日裏氏に現地を案内していただきました。

● 大船渡市～陸前高田市へ。

また被災者の体験を直接聞かせていただき、地震直後や津波警報発令時の住民の行動について、突然の予期せぬ天災に人々の心理や行動の方法で生死を分ける

ことなど。
女川町では17m以上の大津波が町全体をのみ込みました。津波に対する危機意識が低かったことなども、多くの犠牲者が出た原因であるとのこと、心苦しいほどの内容でした。



車が山積み



天使の声、故・遠藤みきさんがここから防災無線で『町民のみなさん早く高台へ逃げて下さい』と叫び続けました。

【南三陸町・防災対策庁舎】

(委員長所見)

東日本大震災で被災された皆様方には心よりお見舞い申し上げます。

今回のような想定外の地震や津波に対し、日々の備えや判断の仕方など自助という点で、個々の意識向上を高めることがいかに大切かを痛感し、被害を最小限に抑えるため災害に強い町づくりに向けた取組みを町当局とともに講じていきたいと考えております。



切り取り線



地震・津波後の悲惨な港

アンケート

あてはまる項目に○印か
字句をお願いします。

問1. あなたの性別と年齢を教えてください。

性別は・・・男性・女性

年齢は・・・(歳)

問2. 年4回発行の「議会だより」は読まれていますか？

①毎回読んでいる ②時々読んでいる ③読んでいない

問3. 「議会だより」で、よく読むのはどれですか。(複数回答可)

①予算・決算の議決内容 ②一般質問
③委員会の活動報告 ④その他 ()

問4. 今後「議会だより」に取り上げてほしい記事は何ですか。

[]

問5. 町議会で、今後取り組んでほしいことは何ですか。

①議会としての監視、チェック機能
②民意の反映 ③政策立案と提案

問6. 町議会への提案、ご意見等ありましたらお聞かせ下さい。

[]

ご協力、ありがとうございました。



地震・津波の爪痕

この大震災は多くの人に、大きな心の傷跡を残した。と同時に今、生きていることへの有難さ・大切さ・人は一人で生きていけないものだという事。

11月20日

かえるフェスティバルへの参加



バナナフォンデュ



フランクフルト

「議会だより」に関するアンケートご協力お願いします。ポストへの投函は、2月末までに！

議会活動を皆さんにお届けするため「議会だより」を年4回発行していますが、皆様と議会をより身近にするため内容等について、いくつかのご質問にお答えいただけますようお願い申し上げます。

議会広報特別委員会

委員長	日裏 勝己	
副委員長	杉谷 考祥	
委員	村上 誠八	井上 孝夫
	藤藪 利広	西山 徹

切り取り線

郵便はがき



差出有効期限
平成24年2月
29日まで

6 4 4 - 8 7 9 0



印南町議会 広報特別委員会行

(受取人) 印南町大字印南2252-1

切り取り線